

「ひだまりサロン」のご案内

～がん患者さんとご家族の集う場所～



がんについて一人で悩んでいませんか？
患者さん同士で話してみたい・・・
がん患者さんとご家族の皆さんで悩みを相談してみたい・・・
気軽に語り合えるサロンです。

この思い聞いてほしい

家族としてどう接したらいい？

仕事のこと、お金のこと、どうしよう？

ほかの方は、どうやって乗り越えた

今回は、インターネットを使って自宅などからでも参加できます。



*** 前日までに事前予約が必要です。**

開始日時 水曜日 午後1時～ (2時間程度)	場所	内容 交流会 と ミニ講座 ※オンライン(インターネット)による参加も可能です!!
令和3年 6月 23日		「つらい気持ちと上手に付き合う 6月の開催は中止 ～マインドフルネス～」 (公認心理師からのお話)
令和3年 9月 22日	西脇病院 (当日案内表示あり)	「つらい気持ちと上手に付き合う ～マインドフルネス～」 (公認心理師からのお話)
令和3年 10月 27日		「食事が摂れないときの工夫」 (管理栄養士からのお話)
令和3年 11月 24日		「がんとリハビリ ～一緒に体を動かしましょう～」 (作業療法士からのお話)
令和3年 12月 22日		「つらさを和らげてあなたらしく過ごす ～がんの療養と緩和ケア～」 (がん性疼痛看護 認定看護師からのお話)
令和4年 3月 2日		「治療とお金 ～医療費と社会保障制度～」 (社会福祉士からのお話)

♡対象：がん体験者さんとそのご家族
(西脇病院の受診の有無は問いません)

最新情報はホームページでご確認ください。

コロナウイルスの感染防止のため、
病院内での現地開催は中止になる可能性があります。

*** 参加費不要 気軽にご参加ください。**

*** 駐車券を会場へご持参ください。**

・お問い合わせ：西脇病院 がん相談支援センター(担当：西畑、仁木)
☎直通0795-22-8270

(病院代表 0795-22-0111 からは内線 331)

がん患者総合支援センターだより
2021年6月発行

〒677-0043 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
西脇市立西脇病院
TEL: 0795-22-0111(代表)

患者総合支援センター 直通
TEL: 0795-22-8270
FAX: 0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital

患者総合支援センターだより

創刊号

HP: <http://www.nshp.jp/>



患者総合支援センター センター長就任のあいさつ



患者総合支援センター長
来住 稔

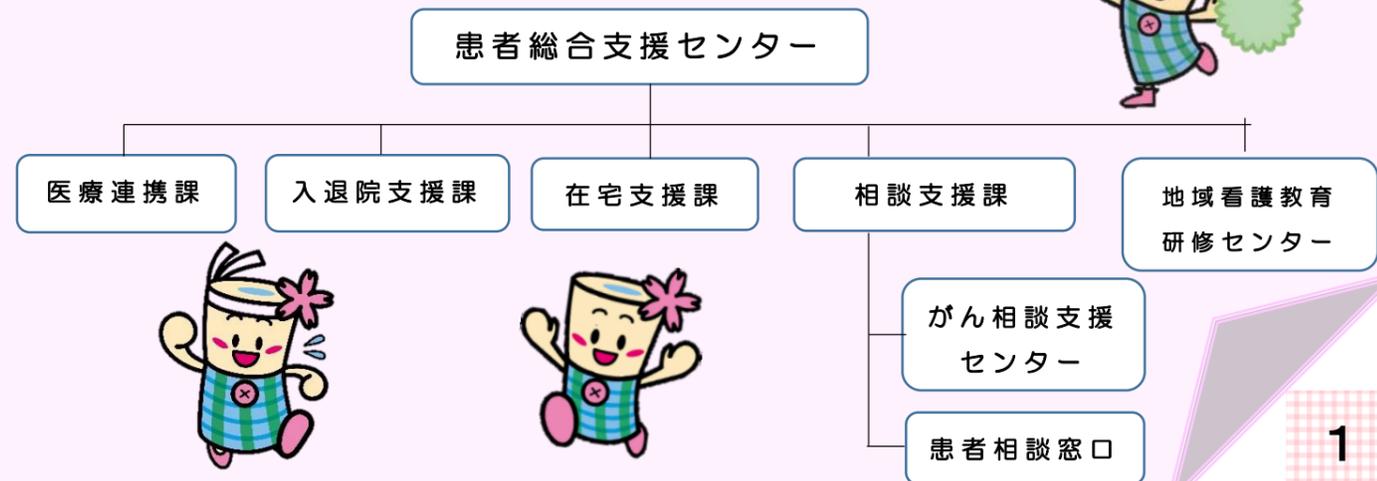
皆様、コロナ禍による未曾有の事態での多忙な診療業務の中、平素は当院との医療連携に御協力頂き大変ありがとうございます。

この度地域医療連携室の患者総合支援センターへの組織改編に伴いセンター長を拝命致しました内科の来住稔と申します。

地域医療連携室は2005年に現病院長の岩井正秀先生を初代室長として設立されました。当初は地域の診療所の諸先生方との前方支援と後方支援から業務を開始しましたが、昨今の医療の多様化により、現在はそれ以外にも様々な業務を行っております。このため、本年度より組織名を「患者総合支援センター」に変更させて頂くこととなりました。新しい患者総合支援センターは、地域の先生方とのスムーズな連携を引き続き行っていく医療連携課、患者様の入退院に関わり様々な支援を行う入退院支援課、がん相談をはじめとした患者様からの療養相談に関わる相談支援課、患者様の在宅療養支援等を行う在宅支援課、及び地域の医療人を育てるための地域看護教育研修センターから構成されています。

名称は変わりましたが、患者様を中心とし病院と地域をつなぐ部門であることには変わりありません。これまでの地域の諸先生方や市民の皆様方からの温かいご支援により得られた良好な関係性を、新しい組織とともに益々飛躍させて参りますのでどうかこれからもよろしくごお願い申し上げます。

患者総合支援センター組織図



コロナ禍における 血液内科診療

血液内科
まつい としみつ
松井 利充

血液内科が担当している骨髄不全や造血器悪性腫瘍の患者さんは、疾病そのものに加え、免疫抑制剤や抗がん剤治療により強い免疫不全状態にあります。最近では、高齢者の多発性骨髄腫や悪性リンパ腫の患者さんが増えていますが、予後を考え治療を継続しなければならないケースも多々見られます。2020年12月の報告では、COVID-19感染で入院された骨髄腫（650例、中央値69歳）の26~58%が亡くなられ、人工呼吸器を必要とした方の8割が死に至っています。すなわち、血液疾患の治療を従来通り継続すべきか、一時中断して通院機会を減らすべきかの判断は、専門医の間でも難しい問題です。

2021年2月現在、西脇病院で行なっている
主な血液疾患の治療方針は以下の①~⑧の通りです。

- ①急性白血病：発症時に直ちに入院、無菌室にて寛解導入療法を実施。
なお、当院での入院治療は、疾患にかかわらず、2021年1月末より全ての患者さんのSARS-CoV-2陰性を確認してから開始しています。
- ②慢性白血病：通院回数が少ない分子標的治療剤を選択し、外来治療を継続します。慢性期では、長期処方により通院回数を減らします。CMLに対するキナーゼ阻害剤がSARS-CoV-2リスクを高めるような証拠は得られていません。
- ③悪性リンパ腫：びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の初回寛解導入など治癒を目指せる標準治療は従前通り行っています。一方、濾胞性リンパ腫など低悪性度リンパ腫では、治療開始の閾値は高くなり、症例毎に検討します。リツキシマブによる維持療法を控えることもあります。
- ④骨髄腫：活動期には標準治療が必要です。また、治療中断により再発リスクが高くなるため維持療法も継続しています。可能な限り月1回の点滴レジメや経口剤を用いて、2ヶ月処方などで受診回数を減らし、感染予防薬の併用を徹底し、感染予防に努めています。



皮膚科の紹介

皮膚科 部長 藤川 義明
ふしかわ よしあき

- 当院皮膚科で、現在のところ対応可能な手術症例は、

外来	ほくろ、アテローム等小腫瘍の切除、皮膚生検
入院	悪性腫瘍、サイズの大きな良性腫瘍 熱傷等の植皮

- ❁ 外来では、小手術、皮膚生検を主に水、木曜日の午後に行っており、良性腫瘍のサイズの大きなものや、悪性腫瘍に関しては、入院での火曜日の午後手術を行っています。
- ❁ 皮膚欠損大きくなるものに関しては、当院では、遊離植皮術、皮弁作成術で対応しております。皮膚、皮下の腫瘍に関しては、当院でほぼ対応可能と考えています。
- ❁ 現在、皮膚悪性腫瘍に対する抗がん剤治療は、基本的には、行っていません。
- ❁ 熱傷に関しても、20%くらいまでの熱傷（気道熱傷が合併していると対応は不可能ですが）であれば、対応可能と考えています。
- ❁ 皮膚潰瘍に関しては、サイズの小さなものに関しては、外来で、適時、壊死組織の病巣搔破を行いながら、保存的に軟膏治療で加療を行っていく方針です。
- ❁ サイズの大きな皮膚潰瘍、傷の状態が落ち着いている症例に関しては、入院で、植皮手術や皮弁手術を行います。
- ❁ 褥瘡などの難治性の症例に関しては、入院で陰圧吸引治療での治療を行う方針です。

現在、当院皮膚科は北播磨圏域で、唯一、複数名（現在は3名）の常勤皮膚科医がいる病院となっています。

入院での治療が必要な皮膚疾患に関しては、当院で対応可能な疾患に関しては、当院で治療を行っていく方針ですので、皮膚疾患に関して、お困りのことがありましたら、ご紹介をお願いします。

麻 酔 科 の 紹 介

麻醉科 主任部長 うえき まさあき 植木 正明

◎ 診療体制

当院麻醉科では、常勤医は3人で、全員が麻醉科専門医であり、手術に対する全身麻酔の診療を受け持っています。

◎ 診療の特徴

予定手術患者については、水曜日・金曜日の午前中に、術前麻酔科外来で麻酔専門医が術前評価を行い、全身麻酔、術後疼痛管理、合併症のリスクなどについて、患者様及びご家族に説明を行っています。緊急手術は常勤麻酔科医により365日、24時間対応できる体制を整えております。

◎ 学会・研究活動

日頃の臨床を通じて得た知見を学会活動を通して発表し、麻酔学の発展に寄与することも行っています。

2020年の学会発表 9演題 2020年の論文発表 9論文

◎ 当科の特色

高齢者の全身麻酔を含めた周術期管理で最高水準の医療を維持し、情報発信をしています。



■ 地域医療機関の先生方へ

ペインクリニック外来を準備中です。

⑤骨髄異形成症候群：高リスク患者のメチル化阻害剤（ビダーザ®）による治療は継続しています。低リスク患者は、できるだけ採血を減らし、エリスロポエチン皮下注を自宅に近い医院に依頼し、受診回数を減らします。輸血依存患者さんでは、輸血間隔を長くし、最低限の輸血頻度に行っています。血小板減少症を有する発熱患者には、イブプロフェンよりアセトアミノフェン投与を推奨します。

⑥骨髄増殖性腫瘍（MPN）：真性多血症（PV）や本態性血小板血症（ET）は COVID-19 合併症である血栓症のリスクを高めるため、非免疫抑制剤（ヒドレア®やアグリリン®）による治療を継続し、血球増多を目標値（Ht45%未満、血小板 40 万/ μ L 以下）に抑えるように努めます。PV や骨髄線維症に投与されているジャカビ®は、重症サイトカインストームに対する治療薬としての可能性も考えられ、突然の中止はせずに、専門医に紹介下さい。

⑦再生不良性貧血：最重症例は、これまで同様の免疫抑制剤（ATG とシクロスポリン）を無菌管理下に行います。シクロスポリン単独投与では、さほど重篤なウイルス感染は認められず、90 日の長期処方により、通院回数の減少を図っています。

⑧自己免疫性血小板減少症（ITP）：重症の新規患者は、入院にてステロイドを含めた標準治療を行います。できるだけ経口のトロンボポエチン受容体作動薬（レボレード®）を併用し、慢性期のプレドニゾロンは10mg/日未満に減量または中止を図るとともに、長期処方により慢性期の通院回数を減らします。

上記ジャカビ®のみならず、レナデックス®、アクテムラ®、イムブルビカ®など血液疾患の治療薬が、COVID-19 感染症治療に役立つ可能性も示唆されています。SARS-CoV-2 発症時には、これらの薬剤は直ちに中止しないで血液専門医に連絡ください。血液病で用いられる特殊な薬剤は、あえて患者さんも耳慣れた商品名®で表示しました。今後、新しい知見により、随時 改訂します。

血液疾患を合併する患者さんを、生活習慣病などの内科かかりつけ診療をしていただいている先生方で、不明な点があれば、いつでもご遠慮なく私どもに、個人情報記載のないメールまたは電話をいただければ、すぐに対応させていただきます。今後必要になれば、自宅に近い診療所での検査と、血液内科医による遠隔診療も検討したいと考えています。引き続き、よろしくお願いたします。



新しい 医師 を紹介します



 <p>内科 医員 齋藤 修一郎 糖尿病内科の齋藤と申します。地域に貢献できるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。</p>	 <p>内科 医員 金銅 研吾 西脇市の医療に少しでも貢献できるよう精一杯取り組まさせていただきます。</p>	 <p>内科 医員 堀谷 晋 3月までは神戸大学病院で主に消化器内科として勤務していました。早期胃がん、早期食道がんの発見に努めてまいります。よろしくお願いいたします。</p>	 <p>内科 医員 上吉川 泰佑 患者さんに寄りそった診療を心がけていきたいと思っております。至らない点も多いかと存じますが、よろしくお願いいたします。</p>
 <p>内科 医員 野々口 瞳 今年度より内科スタッフとして勤務させていただくことになりました。まだまだ未熟者ではあるますが、地域のために精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。</p>	 <p>内科 医員 千田 友佳 近隣機関の皆様には大変お世話になることと思っております。至らぬ点も多いと思っておりますが、地域医療に少しでも貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。</p>	 <p>小児科 医員 山根 弘美 医師6年目でまだまだ修行中の身ではありますが、西脇病院ひいては北播磨地区・丹波地区の地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	 <p>外科 医員 服部 航士 医師3年目です。4月から西脇病院で外科医として勤務しております。若輩者ですが、精一杯診療にあたりますのでよろしくお願いいたします。</p>
 <p>整形外科 医員 折戸 彬 昨年度は朝来医療センターにて勤務しておりました。西脇病院で初期研修を行ってから5年経過し、戻って参りました。よろしくお願いいたします。</p>	 <p>脳神経科 医員 庄瀬 裕康 この度西脇病院に赴任させていただきました。精一杯努力していきますのでよろしくお願いいたします。</p>	 <p>皮膚科 医員 梅村 薫 患者様の心に寄り添い患者様の求める医療を提供できるような医師になる様、日々精進してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。</p>	 <p>歯科口腔科 医員 崎野 美和子 この度西脇市立西脇病院で勤務することになりました。患者様の立場に立って診療することを第一に考え、少しでも役に立ちたいと思っております。</p>

新しい 研修医 を紹介します



 <p>臨床研修医 柏木 祐希 研修医1年目です。神戸大学出身です。初心を忘れず、一生懸命頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>	 <p>臨床研修医 宮本 奈美 今年度より研修医として勤務することになりました。初心を忘れず、笑顔で何事にも前向きに取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	 <p>臨床研修医 川口 夏未 面白いことが好きです。運動が好きです。車窓を眺めていると心が落ちつきます。同じ場所に止まっているのは嫌いです。より成長できるよう努力しようと思っております。</p>	 <p>臨床研修医 松石 宗斉 初期研修医1年目です。高知大学よりきました。西脇市民の皆様の一歩でも力になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。</p>
 <p>臨床研修医 池尾 諒 すっかり西脇市になじんできました。これからも元気良く頑張っていきます。</p>	 <p>臨床研修医 中野 さらり 研修医1年目です。兵庫医科大学出身です。至らぬことも多いかと思っておりますが、笑顔と思いやりを忘れずに精進したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>	 <p>臨床研修医 竹中 柚 QUEENが好きです。精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。</p>	

患者総合支援センター ～私たちがご相談をお受けします！～



医師、看護師、社会福祉士事務員が必要に応じて対応いたします。気軽にご相談ください。

